

北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の旬な情報をお届けします！10月末時点で、第1期生1名、第2期生6名が海外留学中です！

第1期生古里さんが料理長を勤めるレストランがオープンしました

第1期生の古里裕之さんが料理長を勤めるレストラン「DAFNE」（株式会社アトリエ・モリヒコが経営）が、10月7日に札幌市民交流プラザ2階にオープンしました！

古里さんは、昨年の7月から半年間、フランスの三つ星レストランなどで修行を積み、酸や発酵食材を生かした調理法やジビエ料理を探究してきました。提供する料理の中で、古里さんのフランスでの経験がどのように活かされているのか、インタビューを行いましたので、来月号で詳しくお知らせします！



8月に帰国した第1期生齊藤さんからメッセージをいただきました

平成29年8月から1年間、アメリカで障がい者スポーツの指導法などを学んだ第1期生の齊藤雄大さんから、留学中に活動したことや今後の展望などについて、メッセージをいただきました。

■海外での活動内容

大きく分けて3つの事に挑戦しました。1つ目は、テキサス大学車椅子スポーツ部に帯同し、カレッジスポーツとしての障がい者スポーツを学びました。2つ目は、アリゾナ大学で、大学が所有・運営しながら、社会人チームとして活動する障がい者スポーツプログラムを学びました。3つ目は、アラバマ州にあるパラリンピックトレーニングセンターでインターシップをして、運営やスポーツキャンプでの指導など、様々な活動に取り組みました。

■今後の展望

「北海道に障がい者スポーツの拠点を創る」というテーマで、様々な働きかけを行いたいと考えています。対象となる選手を集めチーム活動を開始し、大会に参加することが当面の目標です。

■応援していただいた皆様へ

多大なるサポートをいただき本当にありがとうございます。今回の挑戦は私だけのものではなく、「北海道の挑戦」と考え、今後の私の活動をもって、「成果」に代えていきたいと考えています。今後とも引き続きご支援をよろしくお願いいたします。



10月から留学を開始する第2期生を紹介します



学生留学コース

- 氏 名 伊藤 昂 さん
- 所 属 北海学園大学2年
- 留 学 先 アメリカ、オーストラリア、ロシア
- 研修期間 2018年10月～(10か月)

○留学目的

世界トップクラスのテニスアカデミーなどで世界基準のコーチング技術や国際大会運営マネジメントを学び、北海道テニス界から世界に飛び立つ選手の育成を目指す。

○北海道への貢献

3カ国でマネジメントやコーチング技術を学び、国際スポーツビジネスのノウハウを身につけ、北海道テニス界の国際化の推進に貢献する。将来は、観光への波及効果の高いテニスの世界大会を北海道に誘致したい。

学生留学コース

第2期生 立岩 文武 さん オーストラリア (タスマニア) ～大規模農業の手法を学び、北海道農業の持続を目指す～

大規模農業が進んだオーストラリアタスマニア州に、9月から10か月間留学中。

現在、TIA(Tasmanian Institute of Agriculture)という、タスマニア大学付属の農業研究機関で勉強しています。TIAはタスマニア全土にいくつか施設があり、私はその中のVesitable Research Facilityにいます。

9月はタスマニアの農業概要の把握に努め、タスマニアの圃場の管理方法を学んだほか、野菜の加工工場、羊農家等でも研修を行い、規模や出荷方法など、日本とオーストラリアの違いを感じました。



第2期生 林 泰佑 さん フィンランド (エスポー)

～木造建築技術を学び、海外との架け橋となる建築家を目指す～

森林環境が北海道と似たフィンランドで、9月から1年間、アアルト大学のウッドプログラムを受講。

講義2日目から、Evoという地域の森へ行き、木の成長、野焼き、間伐などの森林の維持管理方法や、簡易製材機の使用方法を見学しました。

また、演習では、木の特性について学び観察して終わりではなく、そこから生まれるアイデアや発想力についての講評も受けています。森林見学、講義、制作課題といった様々な形で「木」にアプローチすることで、より理解が深まっていると感じています。



スポーツコース

第2期生 梅村 拓未さん ドイツ (ハイデルベルク)

～バルシューレを学び、子どもの運動課題を解決～

バルシューレの創設元ハイデルベルク大学で、7月から11か月間研修中。

9月は、大学の公式組織が開いた講習会に参加して修了証を取得したほか、地域のスポーツクラブで活動を開始しました。

子どもが運動に取り組む姿や、指導者の関わり方に日本との違いが見られ、とても勉強になっています。あまり失敗を気にしないところや、指導者と子どもの距離感は日本と違う点であると感じました。ドイツの良い点を、どうすれば北海道でも取り入れていけるか、その点を今後模索していきたいと考えています。



第1期生 山あずささん ニュージーランド (ハミルトン)

～本場でラグビーを学び、道内女子ラグビーの発展に貢献～

ラグビーの本場ニュージーランドの強豪クラブで、昨年11月から1年間、自らプレーしながらコーチングを修得中。

9月も州代表の15人制シーズンということで、毎週末試合が行われています。州代表にはNZ女子代表選手も沢山いて、前回のW杯でキャプテンだった選手と戦う機会もありました。

NZのラグビーは、スキル、フィジカル、ゲーム理解、全てにおいて世界トップレベルで、私は約20年間ラグビーをプレーしてきていますが、毎回の練習や試合で新たな学びや疑問が出てきて、もっと学びたい、まだまだ成長できると感じています。



文化芸術コース

第2期生 鴻野 祐さん フィンランド (エスポーほか)

～「木」を深く学び、デザイナーとしてまちづくりに貢献～

森林環境が北海道と似たフィンランドで、7月から1年間、現地リサーチとアアルト大学のウッドプログラムを受講。

ウッドプログラムでは、様々な国の、様々な世代の人たち16人と協力しながら、共に学んでいます。

現在は、20センチ立方の木のキューブを作るという課題に取り組んでおり、ワークショップには、パイン、アルダー、スプルース、アッシュ等、多様な荒材が用意されています。多くの種類の木に触れ、加工しながら性質、堅さを比較し、適材適所に使用していきます。デザインプロセスも重要視されており、途中講評を受けつつ、より良いデザインになるよう講義が進められています。



未来の匠コース

第2期生 服部 大地さん イタリア (フィレンツェ)

～地産地消の調理法を学び、北海道の食の魅力を深化～

スローフード発祥の地イタリアの料理学校やレストランで、9月から6か月間、地域資源を活かした調理法を修得中。

イタリアは日較差が大きいので、同じ名前の野菜でも味が全く違うことに驚かされました。特に、サンマルツァーノという品種のトマトを使ったパスタとの出会いは、これからの料理人生に大きな影響を与えるものであると感じています。

また、留学先であるフィレンツェ料理学園の先生のトスカーナ料理は、塩を入れるタイミング、食材がどこで採れたものなのか、合わせるオリーブオイルに何をを使うかなど、とても繊細で、料理に対する情熱が伝わる授業となっています。



社会貢献の活動を通じた寄附の取組がスタートします！

11月から、アサヒビール(株)の、北海道限定新商品「ブラックニッカ ハイボール香る夜」の販売と連携した基金への寄附の取組がスタートします。今年6月～8月に実施した同取組の第2弾となり、今回は、11月～翌年1月(3ヶ月)の販売1本につき1円を基金の「スポーツコース」にご寄附いただきます。



応援パートナーの皆様

(平成30年10月現在・敬称略)

岩田地崎建設 | HBA | 有限会社 キョウゴク | 札幌市 City of Sapporo | 大地コンサルタント 株式会社 | TAIYO GROUP
 Nichiryō | 北洋銀行 | 株式会社 丸升増田本店 | MOROO
 アイングループ | Asahi | AminoUp | NTT東日本 | 小樽商科大学 | 北菓楼 | CRIPTON | SATUDORA HOLDINGS | Century Royal Hotel
 札幌商工会議所 | ジェイアイ傷害火災 | JFE | JTB | 清水建設 | すすき | Secoma | Daiichi Life Group
 大成建設 | ロイトン札幌 | 丹波屋 | Chitose Bus | 道路工業株式会社 | Docon | Nipponham | 日本旅行北海道 | 船津秀樹
 HARP | 萩原建設工業 | HITACHI | 北陸銀行 | 北海道銀行 | HORI | IKEUCHI GROUP | MITSUBISHI ELECTRIC
 有末 真哉 石川 諭史 遠藤 光二 佐藤 友昭 (税理士法人FULL SUPPORT 代表社員税理士) 武田 孝 (拓殖工業(株)代表取締役会長) 船津 秀樹
 その他匿名希望の個人・企業4者

北海道総合政策部政策局総合教育推進室
 TEL : 011-206-7380 (直通) FAX : 011-232-6313
 E-mail : mirai.jinzai@pref.hokkaido.lg.jp
 ホームページ : http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sky/mirai-jinzai.htm

公式 Facebook ページ
 みらチャレ
 助成対象者のチャレンジ風景をお届けします。